

平成30年度 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議外部委員発言要旨

日時：平成30年11月5日（月）午後13時30分～

場所：市役所防災庁舎5階 災害対策本部室

基本目標 1	
数値目標 「市内総生産額」	<ul style="list-style-type: none"> ・市内総生産額について、統計の関係から平成26年が最新となっているのは仕方のないことだが、KPIや施策については平成29年や平成30年の最新の数値や状況で評価されているため、数値目標とKPIと施策にタイムラグがありすぎて良し悪しの判断ができない。 しかし、施策やKPIの手応えから今後の数値目標に対しての見込み等を出すことが可能であれば判断もしやすいのではないか。 ・釧路市における代表的な産業、紙パの生産量や生乳生産量など早い時期に計測可能な数値を使用するだとか、国がよく指標として使う鉱工業生産指数や観光客入込などで比べるなどはあるが、総生産だけだとやはり判断は難しいと思う。 もしくは、紙パの生産量や生乳生産量などの市で揃え持っている数値を重ね合わせ、平成26年と平成29年を比較しながら状況を整理すると分かりやすいのかもしれない。
基本目標 2	
数値目標「転入者」	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の数値から達成の見込みが難しいのであれば、施策の中で一步踏み込んで新たな施策を行う動きがあるのか。あるいは、流れるに仕方のない部分があるということで、今後も現行の施策を遂行していくのか、先を見据えた動きをしっかりと見せていくことが大事だと思う。
施策「国際会議観光都市「釧路」を活かしたMICE誘致の推進」	<ul style="list-style-type: none"> ・今行われている施策が数年後に結果を出すものであれば、実績だけではなく見込みの数値もKPIの表に示すべきではないか。 ・また、目標年の状況についても見込みが立つのであれば、KPIの達成に関する見込みも記載できるとより評価しやすくなるのではないか。 ・スポーツ大会が数値として入っていないと伺ったが、施策の中では阿寒の冬季スポーツの状況が書かれていることもあるので、スポーツ課として行っているスポーツ大会の誘致事業についても記載をしていく必要があるのではないか。
施策「釧路の強みを活かした移住・定住の促進」	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路の定住人口を伸ばしていくには、UIJターンの推進は新規就労者を増やす取組として大事なことだと思う。前回の会議でサテライトオフィスの活用の話が出ていたと思うが、その事業についてはどの資料にも書かれていないと感じた。 事業として行われているのであれば、関連する事業は記載するべきだと思う。

<p>施策「釧路の強みを活かした移住・定住の促進」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路市外の地域で働いている人が、今後釧路に戻って生活をしたいと考えた時に、釧路で開催される企業説明会に来る人は少ないと思う。 ・ ここ数年就職用の情報誌も全然効力がないと聞いていて、今の若い人はネットから情報を得ているので、もっとネット情報でのU I Jターンの推進を検討していただければと思う。 ・ 近年企業の就業率についてはひっ迫した状況にあり、たくさんの人に釧路に戻ってきてほしいと切実に思っているので、市としても力を入れて頂きたい。
<p>基本目標 3</p>	
<p>数値目標「合計特殊出生率」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国と比べて北海道はかなり出生率が低い。その中で北海道平均に比べれば釧路市はいい方であるが、全国に比べてこの出生率が低いそもその理由は何か。 ・ 女性の出産可能年齢の中でも、一番出産する年齢の人口が少ないとか、あるいは所得の部分でなかなか結婚できなくて子どもを作るところまでいかないとか、色々理由が多分あって、背景によって施策を打たないとならない。実際実務レベルでどういうところに原因があるのか、仮説みたいなのとかはあるか。
<p>施策「安心して子どもを産み育てられる環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 釧路市の世代別の世帯年収とか見たことがないのでわからないが、多分子育て世代の世帯年収は相当厳しい状況にあると思う。 ・ 特にひとり親世帯はかなり厳しい。 ・ 世代別の子育て世代の年収とか、年収の部分は非常に重要だと思うので、そのようなデータを整理した方が良いと思う。 ・ この全体の計画の中で子育ての施策は実はすごく重要だと思っていて、子育て世代の人達の転入が増えるというのは、単純に一人一人が増えるだけではなくて、もしかすると三人四人と増える要素もあるし、経済的なプラスも大きいので、ここがしっかり充実していることで、全体の計画の波及効果も大きいという印象がある。また釧路の子育て支援は充実しているのではないかといい思いもあり、先ほどから転入とか人口を増やすという計画のなかで、子育ては子育てだけ、人口だったら人口を増やすという、別の施策だというふうに体系が分かれているが、実際には子育て施策が充実している側面があるので、それをPRすることによって人口が増えるという副次効果があるのではないか。 ・ もう一つ、近隣からもっと増やせるかなと思っている。実際にまちの規模から考えても、町よりも市のほうが充実している取り組みが結構あると思っていて、ただそれがあまり知られていなくて、戦略的に人口を増やすとなると、実は割と即効性や効果性が高く、かつコストも低いと考えている。 ・ U I Jはすごく大きなインパクトがあると思う。30代半ばくらいの家族を持つ人が、U I Jするという時に、子育て環境がすごく良いというのは、可能性があるので、子育て環境が良いというだけではなくて、今建設業だとか、

<p>施策「安心して子どもを 生み育てら れる環境づ くり</p>	<p>求職出してもなかなか人が集まらないというところとマッチングできたらもう少し工夫ができる要素があるような気がする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の知人が昨年釧路に移住して、彼はITの技術者で、東京と釧路を行き来しながら、子育て世代で一人子どもがいるが、釧路で家を買って、そういうケースはあるのではないかなと思っていて、そうなると3件4件だけでも、特集されている冊子とかがあって、こんな素敵な暮らしが釧路にあるみたいなのが、ホームページにあるとか冊子にあるといいと思う。釧路の人にとってもすごくPRになると思う。釧路はいい街だったと気づいて、そういう若い方で、来てくれる人がいるということが、そういう意味ではプラスが大きいかなという感じがする。 ・子育てのところというのは、私もファミリーサポートとかこの数字を見ていてこんなに有利なところがあるというのは、東京に住んでいたら全然わからなくて、その部分をU I J ターンなんかの取り組みなどと一緒に情報化して、成功事例というか、そういう形で響くような取り組みをしてはどうか。こういう生活ができる、こういう人がいるということを、数字だけではなくて、わかりやすいような情報発信とか、U I J と子育てを合わせた形で情報発信するなど工夫が必要に思う。
<p>全体</p>	
<p>施策の進捗 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の進捗については事業の詳細や結果は書かれているのだが、もう少しアウトカムよりの視点から、この事業を行うことでこのような効果があった等が書かれているとよいと思う。 ・K P I にどれだけ影響があったかというのは難しいとは思っているので、事業の担当課として、「ある程度予想通りにできた」や「このような課題があってもうまくいかなかった」などの何か指標のようなものがあればわかりやすくなるのではないかと感じた。
<p>事業全般に ついて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の進捗に並んでいる事業を見ると、総合戦略に基づいて新たに事業を組立てているというものがあまりないのではないかと感じる。 <p>今まで行ってきた事業を総合戦略に合わせて書いているように見える。</p> <p>どの施策についても目新しさが無く、結果K P I に差が生じたり、結果が反映されなかったりしているのではないか。</p>